

SCIENCE PARK

関西大学初等部中等部高等部 理科通信 平成28年9月16日発行

目で見える音の伝わり方 (J1理科α)

授業者：松村 湖生

空気中で、音は1秒間に約340m進むことができます。ですが、音の伝わり方を見ることってできませんよね。そこで、100mの直線に生徒が10mごとに立ち、音が聞こえたときに旗を上げてみました。

「ピッ！」ホイッスルの音がなると、旗は手前から奥へ向かってパタパタと順番に上がっていきました。

見ていたみんなからは歓声上がり、音が伝わるようすを目で見ることができた感動を共有しました。



iPadで実験の様子を記録 (E5理科)

授業者：長戸 基

「何度になったら溶けたものが出てくるかな？」と、実験で確かめている5年生です。実験にも慣れ、随分と手早く正確に実験できるようになりました。

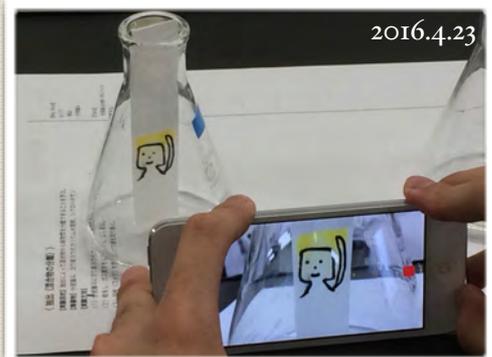
実験の様子は、動画や静止画などで記録します。動画を撮影することで、言葉では伝えきれないことも記録することができます。5・6年生は個人のiPadに様々な写真や動画も残しているので、これまでとは違う実験のまとめができそうですね。

黄色のアフロをつくる！ (S2理系化学)

授業者：岡本 竜平

物質が吸着される強さの違いを利用して混合物から成分を分離する“クロマトグラフィー”。黒い油性ペンを分離すると何色が混ざっているのでしょうか。油性のインクを溶かすことのできる溶媒で試してみると、黒色のインクにはなんと黄色も混ざっていることを発見しました。

この班では、「黄色のアフロをつくる！」とあって、上手に黄色の成分を分離させていました。



高等部の先輩の前でプレゼン (J2理科β・S3文系生物)

授業者：森岡 啓 宮本 裕美子

体に入った酸素や栄養分は細胞呼吸で消費されます。そのときに発生する二酸化炭素やアンモニアなどの老廃物は体外に排出されます。そこで、中等部2年生が、身体の中の物質の循環を擬人化し、オリジナルストーリーを考え、紙芝居を作りました。作った紙芝居は高等部3年生の前で発表し、そのできばえを評価してもらいました。